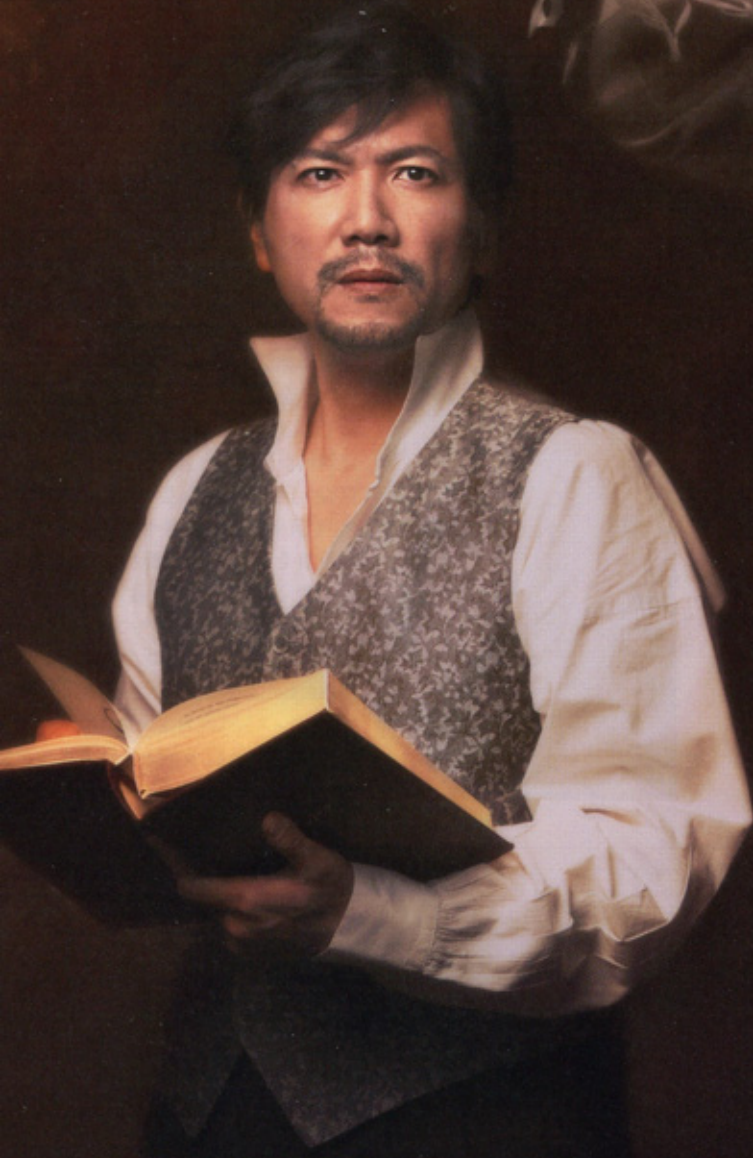


DANCE & ACT Juliet

ジュリエット ～シェイクスピアの秘めたる恋～
W.シェイクスピア「ロミオとジュリエット」より

別所哲也 × 平山素子



2013.3.2 sat

開演18:30(開場17:30) ※公演時間1時間10分予定

究極の愛の果てに見た光

会場

静岡市清水文化会館マリナート
大ホール(入口2階)

入場料

全席指定 5000円(税込)
※3歳以下の子ども様の入場及び席上鑑賞はご遠慮ください。
※車椅子席をご希望の方はチケット購入後、マリナートへ連絡ください。

主催

静岡市清水文化会館マリナート

共催

静岡新聞社・静岡放送

台本・音楽構成・演出 伊豫田静弘

振付

平山素子 古賀豊

音楽

Sプロコイエフ「ロミオとジュリエット」より

ACT

別所哲也 シェイクスピア

DANCE

平山素子 ジュリエット

古賀豊 キャバレレット

佐藤典子 舞踊団 黒衣の人々

永井聡子

制作協力

静岡文化芸術大学

企画プロデュース

別所哲也 × 平山素子が魅せる「ロミ・ジュリ」

もうひとつの悲劇がここにある。

若き日のシェイクスピアが仮面舞踏会で出逢ったジュリエット。

我が身を運命に委ねようとするふたりに黒々とした影が迫っていた。

イギリスの劇作家、

W・シェイクスピア(1564~1616)による

「ロミオとジュリエット」は、

多くの演出家や作曲家を魅了してきた。

中でも今世紀に入り、バレエ音楽として

圧倒的な人気を誇るようになったのが、ロシアの作曲家、

S・プロコフィエフ(1891~1953)の

「ロミオとジュリエット」である。

DANCE & ACT 「Juliet」は、

シェイクスピアの戯曲とプロコフィエフの音楽をベースにして、

演劇の別所哲也と、コンテンポラリーダンスの平山素子が、

語りと身体表現で織りなす刺激的な作品として

現代に躍り出た。

エリザベス朝時代(1558~1603)、

社会を支配していたモラルや親たちが女性を

束縛していた時代へのジュリエットの究極の抵抗、

劇作家としてそれを書き残そうとしたシェイクスピア。

ふたりの秘めたる愛は今、何を問いかけているのか。



別所 哲也 Tetsuya Bessho

静岡県出身。慶應義塾大学法学部卒。90年、日米合作映画「クライシス2050」でハリウッドデビュー。米国映画俳優組合(SAG)会員となる。近年では「レ・ミゼラブル」「ミス・サイゴン」「ナインTHE MUSICAL」「ユーリントウン」などの大作、話題作の舞台に立て続けに主演。99年より日本発の国際短編映画祭「ショートショートフィルムフェスティバル」を主宰。その取り組みにより文化庁長官表彰を受賞。観光庁「VISIT JAPAN」大使、内閣官房知的財産戦略本部コンテンツ強化専門調査会委員、カタールフレンド基金親善大使に就任。2010年、第1回岩谷時子賞奨励賞受賞。13年3月7日より舞台「ホテル マジェスティック」に出演。



平山 素子 Motoko Hirayama

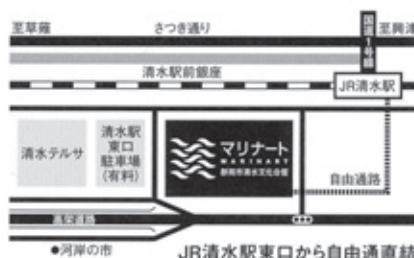
静謐さと昂揚を自在に奏でるダンサーとして観客の熱い支持を集め、近年は振付家としての評価も高い。06年ポリショイ劇場バレエ団にて「Revelation」をS・ザハロフに提供、新国立劇場公演07年「Life Casting-型取られる生命-」で朝日舞台芸術賞、08年「春の祭典」で芸術選奨文部科学大臣新人賞、江口隆哉賞を受賞。ソロ活動としては国内外のアートフェスティバルで作品発表を行う一方、シンクロナイズドスイミングやフィギュアスケートの日本代表選手の指導を手がける等活动は多岐にわたる。洗練されつつ開拓心を失わないアーティストとして日本のダンスシーンをリードする存在である。筑波大学体育系准教授。
<http://www.motokohirayama.com/>

STAFF : [美術]水谷雄司 [照明]御原祥子 [編曲]落合敏行 [音響]ノノヤママナコ [衣裳]堂本教子 [ヘアメイク]馮啓孝 [舞台監督]大蔵聡子

一般発売 1月12日(土)10:00~

- TANK! the WEB <http://www.sundayfolk.com>
- サンデーフォーク静岡 054-284-9999
- チケットぴあ[Pコード:425-401] 0570-02-9999
- ローソンチケット[Lコード:45861] 0570-084-004
- e+(イープラス) <http://eplus.jp>

店頭販売はすみや静岡本店・ペイドリーム清水のチケットぴあの店舗にて取り扱っております。



お問い合わせ 静岡市清水文化会館マリナート ☎054-353-8885 <http://www.marinart.jp>